

1 校区の概要

(1) 校区の概要

平成18年2月に旧西合志町と旧合志町が合併して合志市となった。本市は、熊本市の北東部に位置しており、総面積53.19km²、人口は64498人(令和5年6月現在)である。本市の大部分は、阿蘇の火山灰土で覆われた海拔40m～80mの起伏する地帯にあり、県内でも有数の畑作地帯で、酪農や芝づくりなども盛んである。

本校区は、市の南部に位置し、菊陽町、熊本市と隣接しており、杉並台、武蔵野台、群、永江団地で構成されている。平成25年度までは、熊本都市圏における生活拠点として団地化が進み、児童の転出入や校区内の転居も多く見られ児童数は増加傾向にあったが、現在、やや減少している。保護者は、全体的に教育への関心が高く、PTA活動も積極的に行われている。

(2) 本校の特徴

南ヶ丘小学校は、旧合志町の南部地域の人口増加に対応するため、合志南小学校区を分割し、昭和59年4月に開校した。校区は新興住宅地であるため、子どもの家庭の大部分は核家族である。共働きが増えてきており学童保育を希望する家庭が多い。地域住民のほとんどは、熊本市内からの移住である。地域の方々の学校教育活動への支援が活発に行われており、平成18年度には子どもの下校を見守る「見守り隊」が発足する等、学校との連携が深まってきている。

2 校区の略図

